

株式会社大同工業所

大阪府大阪市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

血小板用保管庫のニッチトップ企業。日本で培った技術を元に、ミャンマーにおける安定的な輸血輸送システムの構築を目指す

- 血小板用保管庫の医療機器承認を持つ国内唯一のメーカーで、製品は赤十字血液センターで広く利用
- ミャンマーにおいて、SDGs の概念に沿った安全・効率的な輸血システムの確立を目指している
- 地域中小企業の分業ネットワークを活用して自社製品の構成品の約 6 割を調達・外注し、地域経済を牽引

企業基本情報

| | |
|--------|-----------------------------|
| 所在地 | 大阪府大阪市中央区森ノ宮中央 1-4-15 |
| 電話/FAX | 06-6746-7141/06-6746-7195 |
| URL | http://www.daido-ind.co.jp/ |
| 代表者 | 代表取締役 大桐 春一 |
| 設立 | 1945年 |
| 資本金 | 1,000万円 |
| 従業員数 | 36人 |



会社概要

血液用冷蔵庫や引火性液体用防爆冷蔵庫など、徹底した温度管理を可能とする技術を持つ。中でも、凝固を防ぐために 22℃±2℃を保ちながら振とうする必要がある血小板用保管庫では国内トップシェアを誇り、日本だけでなく、東南アジア各国の血液センター等に納品、高く評価されている。現在、これまでに培った技術を元に、ミャンマーにおける血液製剤の保管・輸送システムの構築を目指している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 血小板用保管庫及び防爆冷蔵庫のニッチトップ企業

血液用冷蔵庫や引火性液体用防爆冷蔵庫など、徹底した温度管理を可能とする技術を持つ。中でも、血小板の凝固を防ぐために 22℃±2℃を保ちながら絶えず振とうする必要がある血小板用保管庫では国内市場 80%を誇り、その高い技術は日本だけでなく、東南アジア各国の血液センターや医療機関で高く評価されている。また、防爆冷蔵庫も国内シェアは 50% を占め、国内オンリーワン製品を数多く輩出する高度な冷蔵冷凍技術と防爆技術を用いた「人の安全」を支えるニッチトップ企業である。



防爆スポットクーラー

▶▶▶ 東南アジアを中心に、輸血システムの確立を目指す

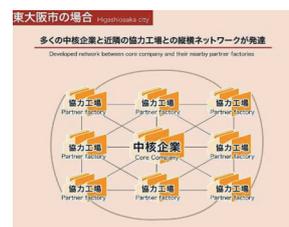
インドネシアやタイ、マレーシア等、東南アジア各国の血液センターや医療機関で、多数の血液保管機器の販売実績を持つ。さらに、医療技術の向上に伴って輸血需要が急増しているにも関わらず、輸血の保管・輸送体制が脆弱なミャンマーにおいて、特に困難な血小板製剤の管理・輸送にビジネスチャンスを見だし、保管機器の導入や輸送体制の形成、技術人材の育成事業を通じて、同国における安全で効率的な輸血輸送システムの確立に貢献すると共に、同国未開拓市場への新規参入を目指す。



血小板製剤用振とう器

▶▶▶ 分業ネットワークを最大限活用する地域経済牽引企業

中小企業のまち・東大阪に拠点となる工場が立地しており、東大阪市医工連携研究会にも属する同社では、ものづくり中小企業のネットワークを活かし、地域中小企業からの原材料調達、外注で占める。企業間協力関係に基づく分業を積極的に推進しており、東大阪市内で医療機器製造販売業の承認を有する唯一のメーカーとして、地域経済を牽引している。また、2015年には大阪府「大阪でいちばん人を大切にす



中小企業ネットワーク